

四国経済新聞

【難関大学・社会音痴症候群】

人間の頭脳には「学問的頭脳」と「社会的頭脳」がある。

分かり易く例を上げて説明すると、例えば東京大学や京都大学等の難関大学卒業者は、その殆どの方が学問的頭脳は優秀である。つまりキャリア官僚等も学問的頭脳は優秀である。

しかしながらこの逆に社会的頭脳はというと、これは意外と駄目な方が多いのだ。

学問的頭脳が優れているが社会的頭脳が劣っている方、前東京都知事の舛添要一氏は典型的な例である。舛添氏の著書を読んでも学問的頭脳が優れていることは一目瞭然だが、社会的頭脳はゼロなのである。

この舛添氏は、皆様方もご存じのように、家族のプライベートに政治資金を使って社会の輦蹙を買い、その解消の為に高い費用で弁護士を雇って「不適正だが違法ではない」と弁護士に言わせて、更に社会の輦蹈を買って、結局は辞任せざるを得なくなったのだ。

つまり、自らが高いお金を出して(弁護士に高い費用を支払って)、自分で自分を辞任に追い込んだのだ。これを誰も止めてやらなかったのだ。私が弁護士なら止めてやるが・・・。酷い弁護士を雇ったものだ。世の中にはこのような酷い弁護士もいるものだ。

更には、これに懲りずに、最近テレビに出て、「自分がプランターで作ったネギを刻んで入れたカップ麺を、地下室ですする引きこもり生活をしている」と放送があった。これにより、又、更に社会の輦蹈を買っている。

ごく最近では、小池都知事を批判してツイッターが荒れ放題「あんたが言うな！」となっている。

この方なんかは正に学問的頭脳は優れているが、社会的頭脳がゼロである典型的な例である。社会音痴である。他人様の気持ちが全く分からない人だ。心が無い。他人がどう思うかが全く分からない人だ。残念ながら、このような方が東大等の難関大学出の人に多い。

「このハゲー」の豊田真由子元議員もしかり、この方は東大からハーバード大学院だ。学歴は申し分がないが、社会性があまりにも幼すぎる。

高知県室戸市津呂の横穴式津波シェルターも非常に残念な施設だ。約3億円かかったそうだが、戸を誰が閉めるのか？と考えると鬼のような心を持っていないと閉められない。色んな問題が多すぎる施設だ。発案者は高知県知事の尾崎氏らしいがこの方もやはり東大から財務省出身だ。

東京工業大出の菅直人元首相は「消費税の税率を所得で区分する」と言った。もしもこうすればどうなるのか？皆が所得の少ない人にスーパーやコンビニ等に買い物に行って貰うだろう。家族や近所等には必ずや所得の少ない人がいる。先ず老人や子供達だ。スーパーやコンビニは子供と老人等で溢れることだろう。更には、消費税率が低い人が買い物を代行するのだから、税収はガタ落ちとなる。これでは国が持たなくなる。このようなことは小学生でも分かることだ。こんなことが分からない人が総理大臣をしていたのだ。社会性が余りにも幼すぎる。

又、私が知っている東大出の方も、残念ながら舛添氏や菅氏等と全く同じだ。人の心を傷つけても平気なのである。人の気持ちが分からない人達だ。嫌、平気なのか気が付かないのか？誠に鈍感な人が多い。社会的頭脳はゼロである。要は、社会的頭脳が全く育って

いないのだ。

ある企業で、残業時の食事をアルバイト学生に出してやった。ところがアルバイト学生のうち「有り難うございます」と言わない学生が、全て東大生だという。東大以外の早稲田や慶應生等は皆が「有り難うございます」というのに……。この企業はもう東大生は雇わないと怒っている。

社会の常識がもの凄く劣っている。

明石家さんまさんが東大生とのやり取りをするテレビ番組がある。これを見ていつも感じることもある。何故このようなことが番組になるのか？それは東大生が社会からズレているからである。普通の人間ではないから行動や考え方が可笑しいのだ。その可笑しさを、さんまさんが上手く引き出している。

只、私がこのテレビを見て感じることは、これらの東大生がキャリア公務員になったらどうなるのか？このような社会音痴が、国の重要なルールを作る仕事をするのかと考えたら「ゾッ」とする。これらの事項を私は「難関大学・社会音痴症候群」と称している。

これとは逆に、優秀な経営者の方達は、社会的頭脳が優れている方が多い。嫌、社会的頭脳が優れているからこそ、自社を発展繁栄させることが出来るのだ。

これらの素晴らしい企業の社長には、難関大学出身ではない方が多数お出でることからもこれらのことが証明される。この具体例を上げれば、株式会社ニトリの創業者で同社代表取締役社長の似鳥昭雄氏だ。北海学園大学経済学部卒業後、広告会社に勤めるが仕事が獲れず半年で解雇となり、23歳で似鳥家具店を創業。学生時代はいじめられっ子で成績は良くない落ちこぼれ。たった30坪の小さな店で創業したニトリは、2013年2月に国内外300店舗出店達成、売上は2016年で4,581億円で、かつニトリの特徴は営業利益率が19.9%と高率なのだ。例えば、高い利益率で有名なユニクロでも9.8%。30年ひたすら増収増益を続けるニトリの企業経営者としては素晴らしいの一言だ。高知にも卸団地の一等地に店を構えている。駐車場はいつも満杯だ。

梅沢富美男氏は言う。「学校では『1+1=2』と教えるけど、世の中に出たら、1+1が3や4になることだってある。だから“社会学”が重要なんだよ。」と。

私は、社会では1+1が10や-5等になることは頻繁にあると思う。

< 龍馬社長大学 学長 奴田原 惇郎 (ぬたはら・あつお) >